

AI時代が到来し、生活の中に浸透し始める中、学校に求められるのは、先進的な考え方や技術を取り入れた教育であることはもちろんであるが、このことは、先人が積み重ねてきた人と人とのつながりを大切にしたい人間教育を基盤にしていることを忘れてはならない。

八名中学校の教育目標「感動 創造 貢献の喜びを共に」は、まさに人間教育を具現化したものである。私たち八名中職員は、心の通った働きかけにより、学校生活の中に「感動 創造 貢献」の場面を創出していく。そのことで、感動、創造、貢献の喜びを生徒と共に感じながら成長していく

感動 創造 貢献の喜びを共に

感動とは心が動くこと

心が動いたとき

何かが変わる

新しい何かが生まれる

それこそが**創造**

創造とは思いが詰まった行動

その行動が

新たな感動を生み出し

自らを成長させる

さらに

人の心を動かす

それこそが**貢献**

貢献とは

誰かのために動き出すこと

そこには

心や魂が込められている

そしてまた

新たな**感動**が生まれる

感動 創造 貢献は

心のリレーそのもの

永遠につながり

無限に広がっていく

私たち八名中職員は

生徒たちと共に

感動 創造 貢献の喜びを

感じられるよう

本気を合言葉にして

生徒に接し、

生徒の心を動かしていく

八名中学校は

感動 創造 貢献の気持ちで

満ち溢れる

心のこもった人間教育を実践し、

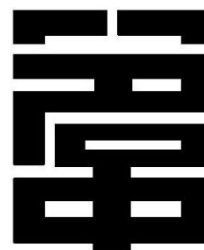
生徒に、保護者に、地域に**貢献**する

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

「感動 創造 貢献の喜びを共に」

中学校生活3年間で、感動・創造・貢献の経験を生徒と職員が共に築き、積み重ねることによって生徒の自己形成の礎を築く



(2) 経営方針

「本気」を合言葉にして生徒に接し、心に響く働きかけにより、生徒の心に火をつけ、自ら考え、自ら学び、自らを高める教育環境を創出する。

- ① 心に火をつけることで、主体的・対話的で深い学びを実現する
 - ・ 教科の専門性を生かして学びの魅力を味わわせることによって生徒の心を揺さぶり、主体的に学びに向かう姿勢を引き出す。
 - ・ 生徒の思いに即した必然性を大事にして話し合いの場面を創出することにより、本気になって議論する喜びを感じさせる。
- ② 心に寄り添うことで、温かみのある学校生活を実現する
 - ・ 生徒の日々の変化に注視し、存在を認め、温かみのある働きかけによって一人一人を支える。
- ③ 心を燃やし夢中になって取り組む活動を生徒と共に創出する
 - ・ 生徒の思いがあふれ出るような体育大会や文化祭等の学校行事を実現する。
- ④ 心のリレーにより、絆と信頼を深める
 - ・ 互いに尊重する気持ちを持たせることで、生徒一人一人のつながり、そして、先生と生徒一人一人の信頼を強めていく。
- ⑤ 心のふるさと「八名」大切にす気持ち育む
 - ・ 八名の人、自然、歴史文化の三宝を有効活用することで、心豊かな人間性を養うとともに、将来にわたりふるさと八名を愛する気持ちを育てる

(3) 本年度の重点目標

- ・ 教育目標に掲げる感動、創造、貢献の場面が満ち溢れた八名中学校とするために、カリキュラムマネジメントを軸にした教育課程の見直しを図る。
- ・ 生徒に身につけさせたい力を定めた上で、年間の学校、学年行事の精選を含めた行事の見直しを進め、活動の目的を十分に検討し、効果的に成果が現れる取り組みとしていく。
- ・ 地域組織との連携を深めていく中で、生徒の学びの場を広げていくとともに、進んで地域に貢献する気持ちを育てる。
- ・ 「き・そう・あ・じ」を合言葉にして、生徒と教職員が一丸となってけじめある八名中学校を目指し、基本的な生活習慣と社会性を身に付ける。
- ・ 教科体育や保健指導、部活動を通して、自身の心と体の状態に関心を持ち、体

力の向上と、心身の健康の保持増進に勤める。

- 特別支援教育の本質を理解し、個に応じた学びの実現に向けた支援のあり方を考え、実践する。
- 特別の教科道德の意義を踏まえ、考え議論する道德のあり方を模索し実現する。
- 落ち着いた気持ちで自らを見つめなおす時間を創出し、自己形成を図る。
- 安全、安心への意識を高め、常日頃の点検を重視するとともに、非常事態への対応や備えについて生徒と職員が一丸となって考え、自らの命や安全を守る力を身につける。
- 教職員が健全な心を保ち、明日への活力を生み出す心の余裕をもつための働き方改革を進める。